

自分探しの旅へようこそ

本校は昭和20年に設立された能代市立能代女子実業学校にさかのぼり、秋田県立能代農業高等学校を経て、着実な歩みを重ね、平成6年に現在の秋田県立能代西高等学校に改変され、今年で創立73年目を迎える学校です。

誠実で真面目に一生懸命働くという校訓「勤労至誠」の精神のもと、私たち教職員は、将来、一人の社会人として、心身ともに健康で、主体的に社会の変化に対応できる人材育成を目指して日々の教育活動を進めております。

また、校地は世界自然遺産白神山地を望む広大な敷地に立地し、全県一広い農地、先端的な総合学科棟を保有しています。地域の方々にも本校の教育活動を理解していただくために、季節に応じた農場の開放（菜の花畑・ひまわり畑・コスモス畑）や実習体験（蕎麦打ち体験、白神ネギの収穫体験）、福祉活動（福祉ボランティア）などを実践し、地域に信頼される、活力に満ちた魅力ある学校づくりに努めております。

本校の教育の大きな特徴は、平成10年度から導入した「総合学科」にあります。「総合学科」で行われる教育の特色は、体験的な学習を通して、人間としての在り方、生き方を考え、①生徒一人ひとりの個性を尊重し、主体的・協働的な学習を重視すること、②社会的・職業的自立を目標に据え、将来の職業選択のために、自己の自覚を深めさせる学習を重視することにあります。

本校では、「生物資源（農業）」「ビジネス（商業）」「情報科学（工業）」「生活福祉（家庭）」「総合進学」の5つの系列を設定し、幅広い選択科目の中から自分の目指す進路や興味・関心に応じて自由に科目を選択し、自分で時間割を作成し、自分なりの学習スタイルを作って学ぶことができます。このように、在校生は将来の自分の進路に向けて自分のペースで伸び伸びと高校生活を送っています。また、各系列とも体験的な学習と併せて専門的知識、技能の習得にも力を注ぎ、第二種電気工事士・介護職員初任者研修・ビジネス文書実務・情報処理など多種多様な資格検定試験に挑戦しています。

このように特色ある教育実践をこれからも推進し、生徒一人ひとりが持つ能力・才能を互いに認め合い、磨きあえる学校づくり、ふるさとに貢献できる人づくりに努めてまいります。今後とも、保護者、同窓会さらには地域の皆様の御支援、御協力をお願いいたします。

平成30年4月

秋田県立能代西高等学校長 藤田 仁志